

ときわこども園(園長笠原先生) 公開保育及び施設関係者評価

◆令和8年2月16日公開保育について

昨年に引き続き、行政・小学校・他園等への公開保育(内容は3歳~5歳音楽指導)であった。結果から言うと公開保育としてその意義を十分に果たした。その年齢に応じた音楽教育の仕組みとそれに対する指導の適切さは特筆である。

当日参加していただいた教育長様より、小学校においても指導の仕組みが大切であり、幼児教育におけるときわこども園の仕組みを大変褒めてくださった。小学校であれば教育課程があり教科書を通した指導が出来るが、幼児教育は「環境通した保育」が信条であり笠原園長を中心とした長年の音楽指導の在り方は、大変素晴らしいことだと感じた。これらのことは地域や保護者の方にとっては平素のことだと思うが、この取り組みこそが幼児教育の在り方である。小学校校長先生からは決して小学校を見据えての活動ではないが、見据えているかのような5歳児の意欲や姿勢は素晴らしいとお話があった。当園が園児の心持ちを大事にし、教育を進め更にそこに他人の声を聞くという慣習は幼児教育という場において育む基礎であり真髄である。

最後に4歳児の担任が当日不具合で参加できなかったが、園長先生中心に職員が臨機応変となって取り組んだ姿勢と対応(実はこの「環境の再構築」は保育ではとても重要であり素晴らしかった)、そして何よりも後藤式音楽メソッドの素晴らしさに驚嘆することを付記する。

◆令和 8 年 2 月 16 日施設関係者評価

ときわこども園の学校評価に値する施設関係者評価について記述する。まず前提条件である職員の自己評価についてはしっかり行われていた。次に園児の安全安心及び避難訓練等に対する書類及び実施状況、指導計画一覧とその実施状況など保育に関するものもきちんと執行されていた。また令和 7 年度事業計画に基づく各種行事等の報告もなされきちんと整理されていた。これらは評価としては適正との一言であるが、笠原園長先生を中心として職員が真摯に保育に向き合っていること、また事務長を中心とした書類の管理など見事だと思われる。

その後保護者の評価委員から各種意見が出された。この中で保育の働き方は今後と大きな課題である。園は月曜から土曜までの 66 時間開園である。保育士の働き方改革を目指し、例えば土曜保育の対応を行政保護者も含めて考えることは今後の課題だと思う。

また職員保護者対応も含め研修等是非とも次の 2 点を進めてもらいたい。内容は、発達に即した教育の理解、特別な支援についての 2 本である。よってカリキュラムマネジメントをして次年度はこれらの園内研修を必須とすべきである。（実際には特別な支援については職員研修をしていることを報告したい）

今後とも法人の私立保育所として地域貢献を軸としながら、その有意義を鑑みながら園運営に当たっていただきたい。最後に保護者の皆様にお伝えしたい当園は笠原先生を中心に全国でもモデルになるべき保育をしている。保護者の皆様の意見を真摯に取り入れながら園保護者が一丸となって保育に取り組み、将来にわたって地域の保育施設として活躍することを心より強く望む。

社会福祉法人 清隆厚生会 坂崎 隆浩

施設関係者評価 委 員 長	坂崎 隆浩
委員（保護者）	木浦 由季
	樗澤 麻奈美
	清水 俊明
	田中 明信